

使用開始日 2016年3月18日

## 投資信託説明書(交付目論見書)

# WTI原油先物ファンド

(ロング・ポジション / ショート・ポジション / マネー・ポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)  
【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)  
【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券

※本文書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。



 アストマックス投信投資顧問株式会社

- 委託会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]  
アストマックス投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号  
・ホームページ <http://www.astmaxam.com>  
・照会ダイヤル 0120-580446(営業日の9:00~17:00)
- 受託会社 [ファンドの財産の保管及び管理を行なう者]  
三井住友信託銀行株式会社

ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】  
 【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】

商品分類				属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類	投資対象 資産	決算頻度	投資対象 地域	為替ヘッジ	特殊型
追加型	海外	その他資産 (商品先物)	特殊型 (ブル・ベア型)	その他資産 (商品先物)	年1回	北米	為替ヘッジあり (フルヘッジ)	ブル・ベア型

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】

商品分類			属性区分		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域
追加型	国内	債券	債券(一般)	年1回	日本

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

※商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご参照ください。

委託会社の情報(平成28年1月末日現在)

委託会社名	アストマックス投信投資顧問株式会社	資本金	95百万円
設立年月日	平成16年5月12日	運用する投資信託財 産の合計純資産総額	3,055億円

1. この目論見書により行なう「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により有価証券届出書を平成27年9月24日に関東財務局長に提出しており、平成27年9月25日にその届出の効力が生じております。
2. 商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。
3. 投資信託の財産は、受託会社において信託法(平成18年法律第108号)に基づき分別管理されています。
4. 請求目論見書は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に請求目論見書をご請求された場合には、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
5. ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。



# 1.ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

### 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」

主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きと概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。運用にあたっては、原油先物取引の買建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう調整を行なうとともに、国内余剰資金については、わが国の短期公社債に投資します。

### 「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」

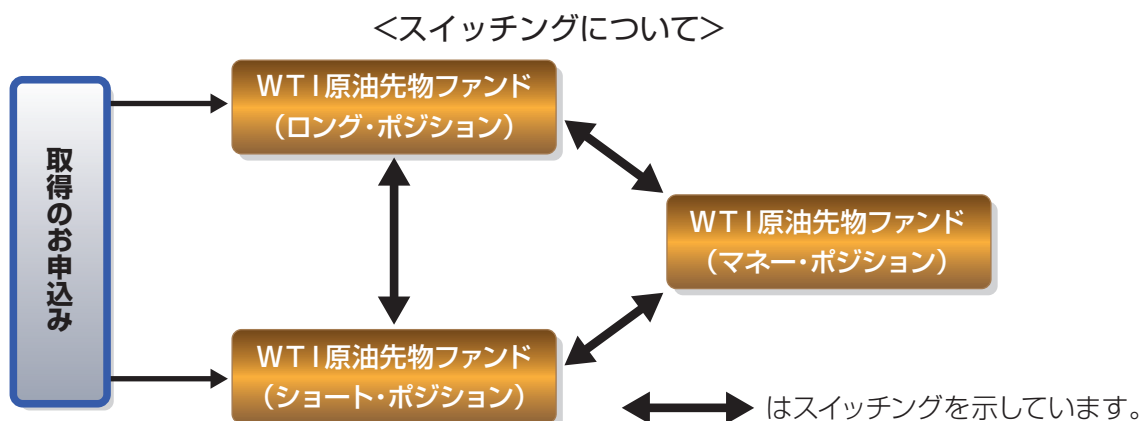
主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。運用にあたっては、原油先物取引の売建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう調整を行なうとともに、国内余剰資金については、わが国の短期公社債に投資します。

### 「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」

わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行ないます。

## ファンドの特色

- a. 当ファンドは、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」の3本のスイッチング可能なファンドで構成されています。



◇スイッチングとは、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドの受益権を換金し、その換金代金をもって、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」を構成する他のファンドの受益権の取得申込みを行なうことをいいます。

※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」の受益権の取得申込みは、スイッチングによる場合のみ受け付けます。

※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

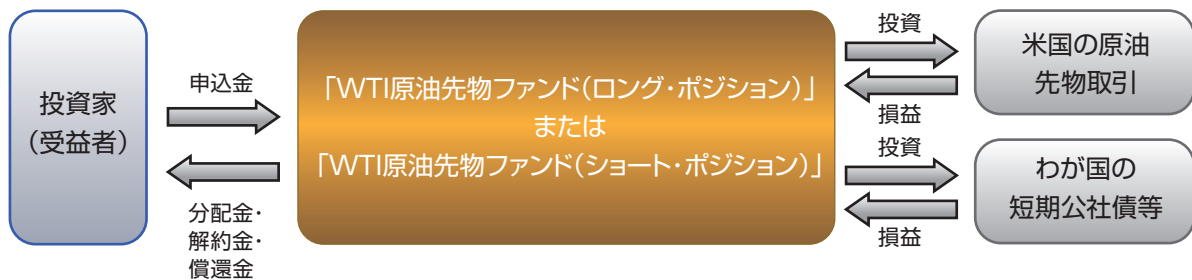


# 1. ファンドの目的・特色

## b. 商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

平成20年の法令等の改正により、投資信託の主たる投資対象(特定資産)として、商品現物、商品先物取引等に係る権利が追加されました。「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

### <投資の仕組み>



## c. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないます。

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」においては、外貨建資産の為替変動リスクを低減するため、外国為替予約取引、通貨先物取引等を用いて為替ヘッジを行ないます。ただし、市場動向の変化、ヘッジをかける比率、タイミング等により、想定したほどヘッジ効果があがらない場合があります、基準価額に影響を及ぼすことがあります。



# 1.ファンドの目的・特色

## 主な投資制限

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】

- ①外貨建資産の投資割合には、制限を設けません。
- ②デリバティブ(商品投資等取引に係る権利を除きます。)の使用は、ヘッジ目的に限定します。

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】

- ①外貨建資産への投資は、行ないません。
- ②デリバティブの使用は、ヘッジ目的に限定します。

## 分配方針

- ①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行なわない場合もあります。
- ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。



## 2.投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、主に商品先物取引(「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」以外の各ファンド)およびわが国の公社債を投資対象としますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### <主な変動要因>

商品先物取引による運用に伴うリスク	商品先物の取引価格は、様々な要因(商品の需給関係の変化、天候、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、技術発展等)に基づき変動します(個々の品目により具体的な変動要因は異なります)。商品先物を買建てている場合、価格が下落すれば損失が発生し、売建てている場合、価格が上昇すれば損失が発生します。当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、短期的または長期的に大きく下落し、投資元本を下回ることがあります。その他、商品先物取引が基準価額に影響を与える要因については、「追加的記載事項」をご参照ください。
公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行となった場合、またはその可能性が予想される場合には、当該公社債の価格は大きく下落します。当ファンドが組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
為替リスク	外貨建資産は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。当ファンドが組入れている外貨建資産について、当該外貨に対して円高となった場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。当ファンドにおいては、外貨建資産の為替変動リスクを低減するため、外国為替予約取引等を用いて為替ヘッジを行ないますが、想定したほどヘッジ効果があがらない場合があり、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済・社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合等には、運用の基本方針に沿った運用を行なうことが困難となる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されているものではありません。

### その他の留意点

#### ■クーリング・オフについて

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

#### ■「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。そのため、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご留意ください。

※詳しくは、「追加的記載事項」をご参照ください。

#### ■基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、原油先物取引を活用するため、主として「追加的記載事項」に掲げる要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご留意ください。

※詳しくは、「追加的記載事項」をご参照ください。

### リスクの管理体制

信託財産における運用リスクについては、運用部門責任者およびファンド・マネージャーが常時モニターし、協議、点検を行なっています。リーガル・コンプライアンス部門においては、管理部門からのモニタリング結果の報告等を通して法令および信託約款等の遵守状況を日々チェックしています。これらの結果は、代表取締役、運用部門責任者、リーガル・コンプライアンス部門責任者等で構成される月次の運用委員会に報告されており、同委員会でも運用状況の点検が行なわれています。



# 2.投資リスク

## 参考情報

下記のグラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。左のグラフは、過去5年間の当ファンドの年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)と分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。

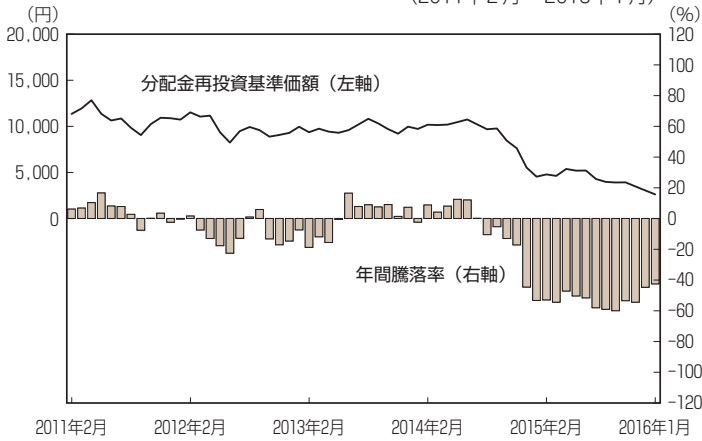
右のグラフは、過去5年間の年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

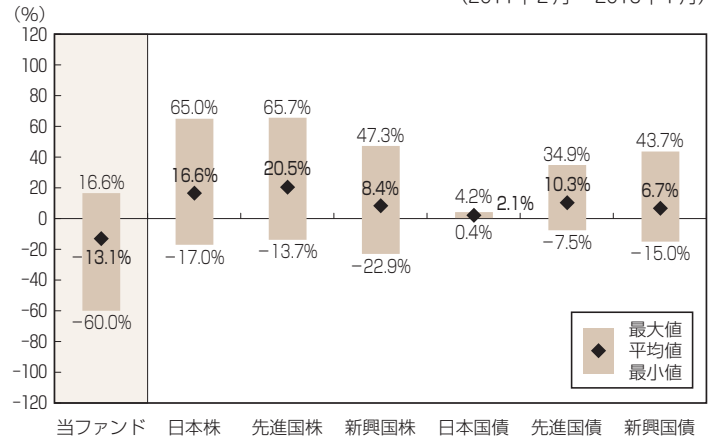
### 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

#### 【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】

(2011年2月～2016年1月)

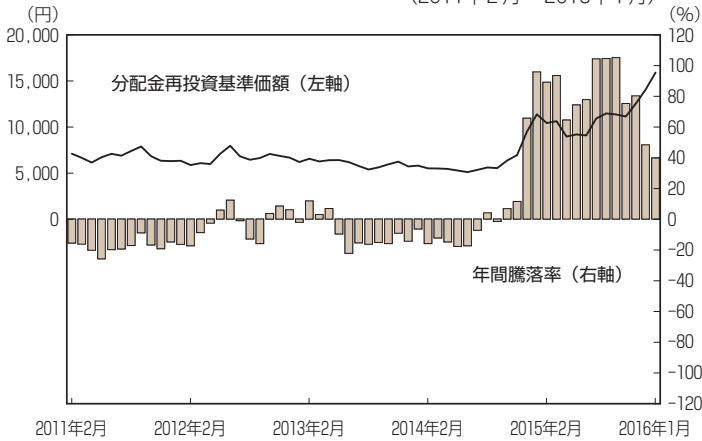


(2011年2月～2016年1月)

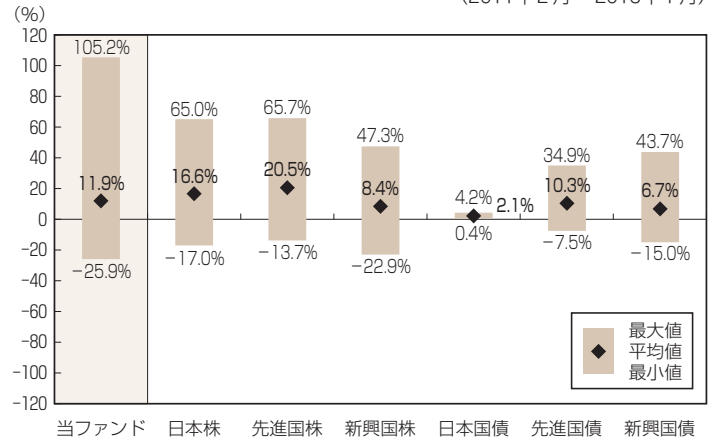


#### 【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】

(2011年2月～2016年1月)



(2011年2月～2016年1月)

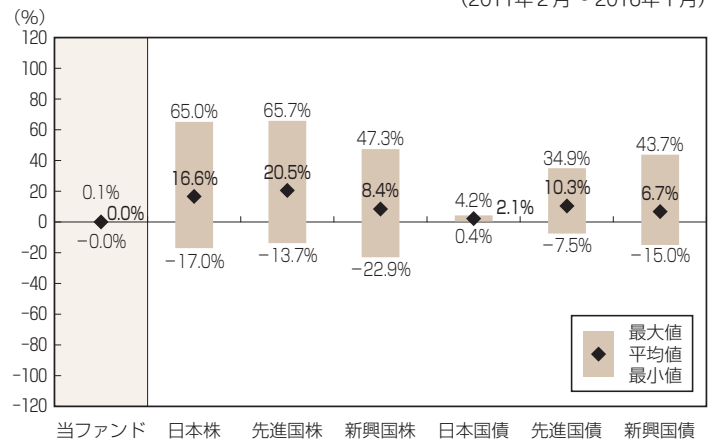


#### 【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】

(2011年2月～2016年1月)



(2011年2月～2016年1月)





## 2.投資リスク

### 参考情報

- \* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したものであり、実際の基準価額と異なる場合があります。
- \* 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づき計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- \* 各資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

#### <各資産クラスの指数>

日本株……………東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債……………JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

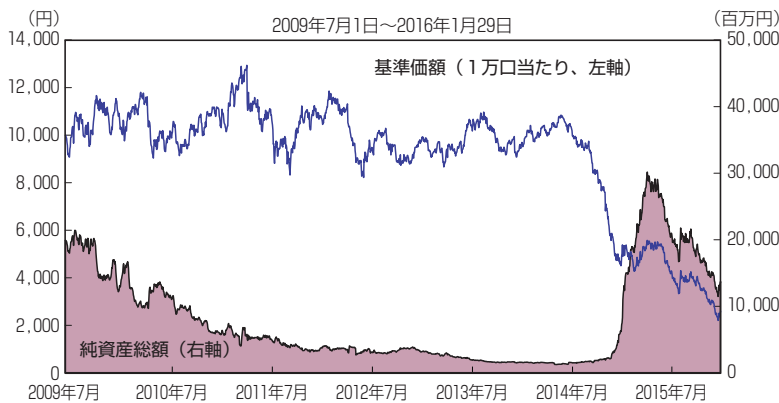
※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースで表示しています。

※各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は以下の通り帰属します。

指数	帰属
東証株価指数	株式会社東京証券取引所
MSCIコクサイ・インデックス	MSCI Inc.
MSCIエマージング・マーケット・インデックス	MSCI Inc.
NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
シティ世界国債インデックス	Citigroup Index LLC
JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	J.P.Morgan Securities LLC



## 基準価額・純資産の推移



※基準価額は、信託報酬控除後のものです。

## 分配の推移

決算期	分配金
第2期(2011年6月27日)	0円
第3期(2012年6月25日)	0円
第4期(2013年6月25日)	0円
第5期(2014年6月25日)	0円
第6期(2015年6月25日)	0円
設定来累計	0円

※分配金は、1万口当たり、税引き前の値を記載しています。

## ≪基準価額・純資産総額≫

基準価額	2,606円
純資産総額	13,777百万円

## 主要な資産の状況

### ◆ポートフォリオの状況

資産の種類	比率(%)
国債証券	55.2
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	44.8
商品先物取引(買建)	102.4

### ◆商品先物の買建比率

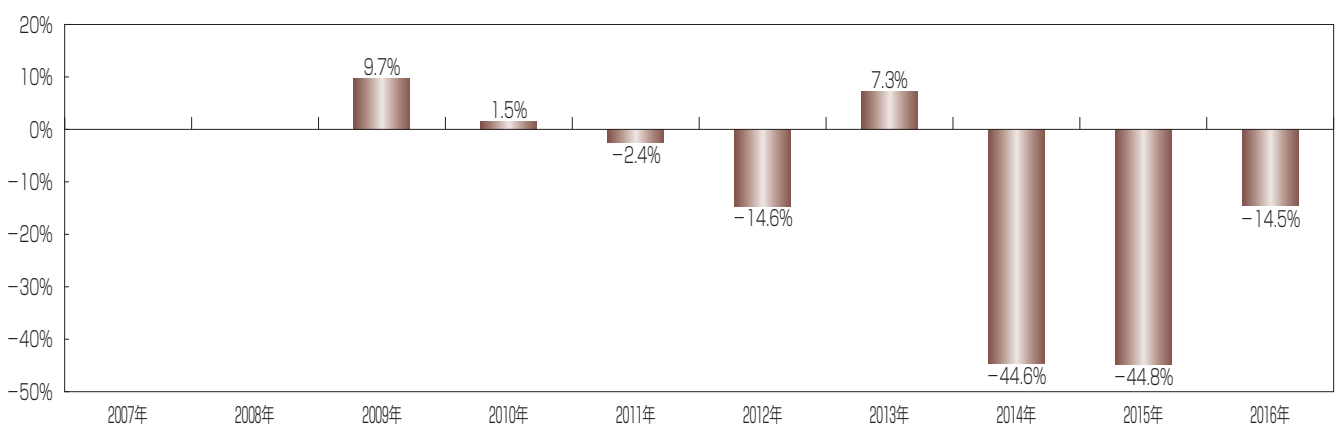
	銘柄名	比率(%)
1	WTI原油先物(2016年3月限)	102.4
2	—	—
3	—	—

### ◆債券組入上位10銘柄の組入比率

	銘柄名	利率	償還日	比率(%)
1	第579回国庫短期証券	—	2016/4/7	55.2
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	—	—	—	—
5	—	—	—	—
6	—	—	—	—
7	—	—	—	—
8	—	—	—	—
9	—	—	—	—
10	—	—	—	—

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。

## 年間収益率の推移



※当ファンドにベンチマークはありません。

※2009年は設定日(2009年7月1日)から年末までの騰落率、2016年は2016年1月末日までの騰落率を記載しています。

※騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

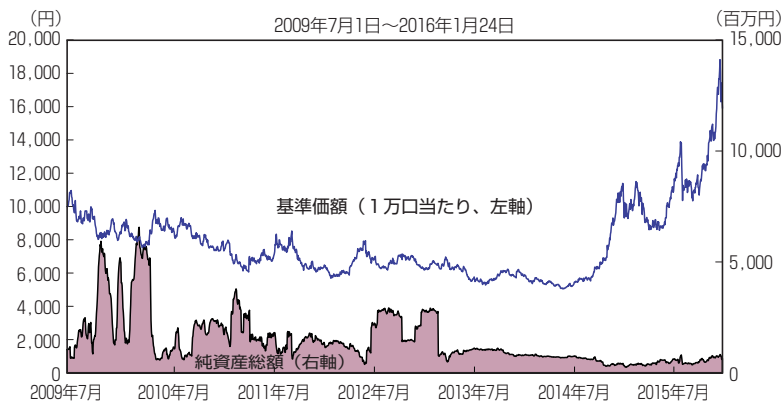
ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。  
 ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示している場合があります。



### 3.運用実績 [WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)]

データは2016年1月末日現在

#### 基準価額・純資産の推移



※基準価額は、信託報酬控除後のものです。

#### 分配の推移

決算期	分配金
第2期(2011年6月27日)	0円
第3期(2012年6月25日)	0円
第4期(2013年6月25日)	0円
第5期(2014年6月25日)	0円
第6期(2015年6月25日)	0円
設定来累計	0円

※分配金は、1万口当たり、税引き前の値を記載しています。

#### 《基準価額・純資産総額》

基準価額	15,911円
純資産総額	658百万円

#### 主要な資産の状況

##### ◆ポートフォリオの状況

資産の種類	比率(%)
国債証券	60.7
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	39.3
商品先物取引(売建)	110.3

##### ◆商品先物の売建比率

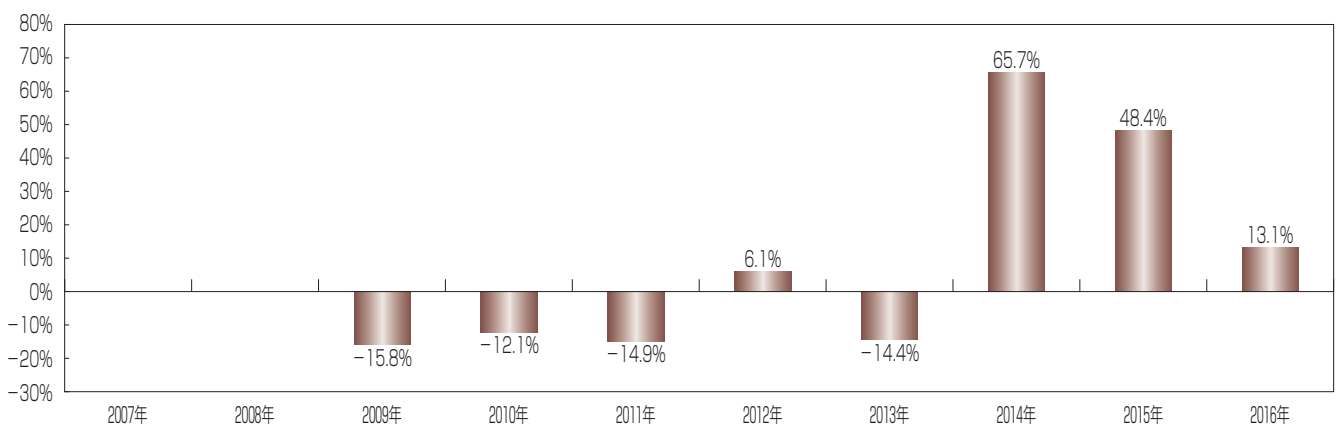
銘柄名	比率(%)
1 WTI原油先物(2016年3月限)	110.3
2 —	—
3 —	—

##### ◆債券組入上位10銘柄の組入比率

	銘柄名	利率	償還日	比率(%)
1	第568回国庫短期証券	—	2016/2/15	10.6
2	第584回国庫短期証券	—	2016/4/25	9.1
3	第575回国庫短期証券	—	2016/6/10	7.6
4	第585回国庫短期証券	—	2016/5/2	6.1
5	第572回国庫短期証券	—	2016/2/29	6.1
6	第578回国庫短期証券	—	2016/3/28	6.1
7	第573回国庫短期証券	—	2016/3/7	4.6
8	第582回国庫短期証券	—	2016/4/18	4.6
9	第576回国庫短期証券	—	2016/3/22	3.0
10	第519回国庫短期証券	—	2016/3/22	3.0

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。

#### 年間収益率の推移



※当ファンドにベンチマークはありません。

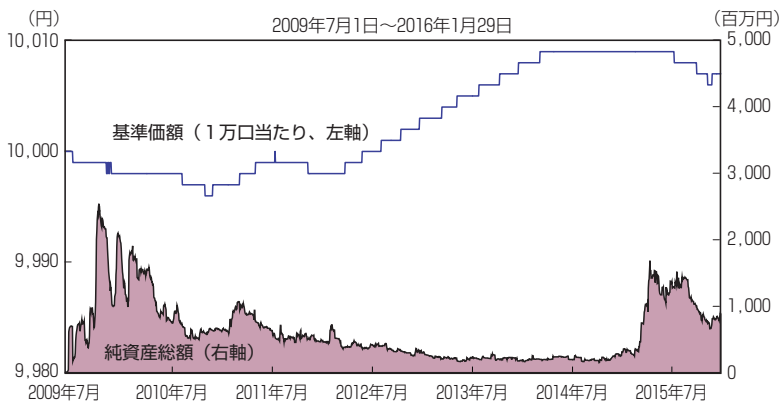
※2009年は設定日(2009年7月1日)から年末までの騰落率、2016年は2016年1月末日までの騰落率を記載しています。

※騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。  
 ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示している場合があります。



## 基準価額・純資産の推移



※基準価額は、信託報酬控除後のものです。

## 分配の推移

決算期	分配金
第2期(2011年6月27日)	0円
第3期(2012年6月25日)	0円
第4期(2013年6月25日)	0円
第5期(2014年6月25日)	0円
第6期(2015年6月25日)	0円
設定来累計	0円

※分配金は、1万口当たり、税引き前の値を記載しています。

### 《基準価額・純資産総額》

基準価額	10,007円
純資産総額	888百万円

## 主要な資産の状況

### ◆ポートフォリオの状況

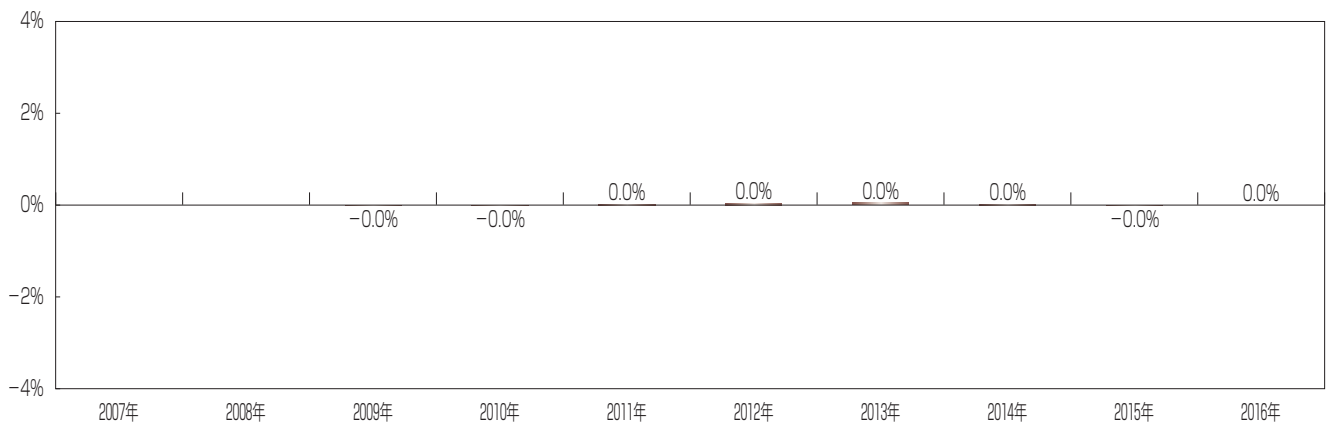
資産の種類	比率(%)
国債証券	61.9
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	38.1

### ◆債券組入上位10銘柄の組入比率

	銘柄名	利率	償還日	比率(%)
1	第579回国庫短期証券	—	2016/4/7	52.9
2	第570回国庫短期証券	—	2016/2/22	9.0
3	—	—	—	—
4	—	—	—	—
5	—	—	—	—
6	—	—	—	—
7	—	—	—	—
8	—	—	—	—
9	—	—	—	—
10	—	—	—	—

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。

## 年間収益率の推移



※当ファンドにベンチマークはありません。

※2009年は設定日(2009年7月1日)から年末までの騰落率、2016年は2016年1月末日までの騰落率を記載しています。

※騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。  
 ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示している場合があります。



## 4. 手続・手数料等

### お申込みメモ

購 入 単 位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位とします。
購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします(ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購 入 代 金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換 金 単 位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換 金 代 金	換金代金は、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
申 込 締 切 時 間	午後3時までとします(販売会社所定の事務手続きが完了したものの)。
購 入 の 申 込 期 間	平成27年9月25日から平成28年9月26日までとします。 ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新する予定です。
換 金 制 限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、換金の金額に制限を設ける場合があります。
ス イ ッ チ ン グ	当ファンドは、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」の3本のスイッチング可能なファンドで構成されています。 ※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」は、スイッチングによる場合のみ買付け可能となります。 ※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。
購 入 ・ 換 金 申 込 不 可 日	「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」については、ニューヨークの銀行の休業日もしくはロンドンの銀行の休業日の場合は、原則として購入・換金の申込みを受付けないものとします。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 の 中 止 及 び 取 消 し	商品市場および金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止すること、または既に受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みを取消す場合があります。
信 託 期 間	平成29年6月26日までとします(平成21年7月1日当初設定)。
繰 上 償 還	受益権の口数が30億口を下ることとなった場合等には、繰上償還となる場合があります。
決 算 日	原則として、毎年6月25日に決算を行ないます。なお、当該日が休日の場合は翌営業日とします。
収 益 分 配	原則として、年1回の決算日に、収益分配方針に基づいて分配を行ないます。なお、分配金は税引後、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。分配金再投資コース(税引後の分配金が自動的に無手数料で再投資されるコースをいいます。)はありません。
信 託 金 の 限 度 額	各ファンドの信託金の限度額は、1,000億円とします。
公 告	委託会社が行なう公告は、電子公告により行ないます。 公告アドレス <a href="http://www.astmaxam.com/notification/">http://www.astmaxam.com/notification/</a>
運 用 報 告 書	決算時および償還時の受益者に対して、運用経過、信託財産の内容、商品先物や有価証券の売買状況、費用明細等のうち重要な事項を記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。



## 4. 手続・手数料等

### ファンドの費用・税金

#### ◆ファンドの費用

##### ■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 <b>3.24% (税抜3.00%)</b> を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングによる買付けの場合の手数料は、上記「購入時手数料」の3分の1の金額となります。 ※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」へのスイッチングについては、手数料はいただきません。 ※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。 ※購入時手数料は、購入時の商品および投資環境に関する説明や情報提供、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。
--------	--

信託財産留保額 ありません。

##### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 信託報酬の総額は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に <b>年2.0412% (税抜年1.89%)</b> の率を乗じて得た額です。 委託会社、販売会社、受託会社間の配分および役務の内容については次のとおりです。
------------------	---

	配分(税抜)	役務の内容
委託会社	年1.09%	資金の運用の対価
販売会社	年0.75%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】  
信託報酬の総額は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に**年0.972% (税抜年0.9%)**の率を上限として各月毎に決定される信託報酬率を乗じて得た額です。各月の1日から各月の翌月の1日の前日までの信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物金利の平均値に0.54 (税抜0.5)を乗じて得た率とします。  
委託会社、販売会社、受託会社間の配分および役務の内容については次のとおりです。

	配分	役務の内容
委託会社	信託報酬の総額の45%	資金の運用の対価
販売会社	信託報酬の総額の45%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	信託報酬の総額の10%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

上記の信託報酬の総額は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日(6ヶ月終了日が休業日の場合は、翌営業日とします。)、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

その他の費用・手数料	①法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産の監査に係る費用、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.1%の率を上限として乗じて得た額です。これらの報酬等は、信託報酬の支払いと同一の時期に信託財産中から支払われます。 ②商品先物や有価証券売買時の売買委託手数料、借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がお客様の保有期間中、その都度信託財産中から支払われます。これらの費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。
------------	--

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### ◆税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「愛称：NISA (ニーサ)」をご利用の場合  
少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、年間80万円の範囲で20歳未満の方を対象とした非課税制度「ジュニアNISA」は、平成28年1月1日から口座開設が可能となり、平成28年4月1日から購入が可能となる予定です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。



## 5. 追加的記載事項

### 商品先物取引による運用に伴うリスク

「投資リスク」に記載した要因以外の基準価額に影響を与える要因

- 外貨建てで取引される場合は、為替変動の影響を受けます。
- 市場の流動性の低下、投機家の参入および政府の規制・介入等の様々な要因により、影響を受けることがあります。流動性の低下等により、価格が著しく不安定となる場合や、売買の際に大きく変動することがあります。
- 取引所が定める値幅制限等の規制により、不利な価格で取引を行わなければならないことがあります。
- 価格の低い期近の先物を価格の高い期先の先物に買換える場合、または価格の高い期近の先物を価格の低い期先の先物に売換える場合、マイナスの影響を及ぼす可能性があります。

### 「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行いません。そのため、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。

例えば、右の図表のとおり、WTI原油先物取引価格が1日目に10%下落し、2日目に15%上昇した場合、運用目標が達成されれば、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額は1日目に10%上昇し、2日目には15%下落します。しかし、基準日から2日間の騰落率は、WTI原油先物取引価格は3.5%の上昇、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は6.5%の下落となります。

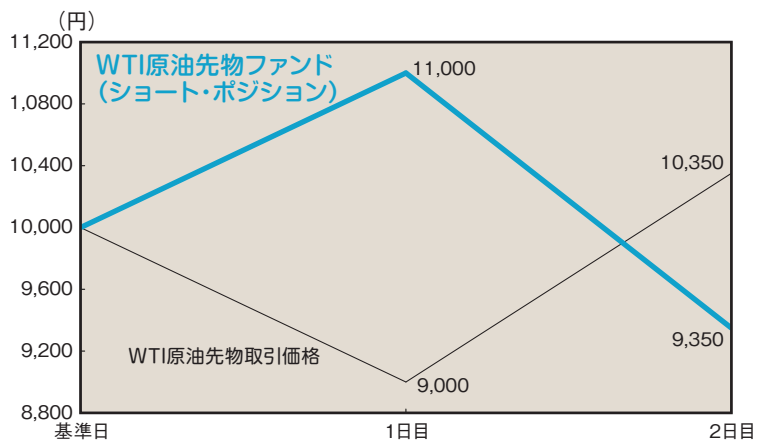
このように、2日以上保有した場合は、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の値動きはWTI原油先物取引価格の値動きの「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。特に、WTI原油先物取引価格の中長期的な値動きと比較した場合、大きく乖離することも予想されます。

※上記は、運用目標が日々正確に達成された場合を前提としています。騰落率や価格はWTI原油先物取引価格の値動きと「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の値動きの関係を説明するための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。また、基準日のWTI原油先物取引価格を10,000円としていますが、実際に取引される価格と異なります。WTI原油先物は、米ドル建てで取引が行われます。

#### 基準価額とWTI原油先物取引価格の値動きの例

( )内は前日比の騰落率

	基準日	1日目	2日目	2日間の騰落率
WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)	10,000円	11,000円(+10%)	9,350円(-15%)	-6.5%
WTI原油先物取引価格	10,000円	9,000円(-10%)	10,350円(+15%)	+3.5%



### 基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、原油先物取引を活用するため、主として以下の要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご注意ください。

- 運用資金の増減等の対応のために行なった原油先物取引の約定価格と終値に差が生じた場合
- 大幅な変動や急激な変動、流動性の低下などにより先物取引が成立せず、必要な取引数量のうち全部または一部が取引不成立となった場合
- 原油先物取引の最低取引単位の影響
- 原油先物取引のロールオーバー（期近の取引を決済し、期先の取引へ乗換える）時に発生する売買委託手数料等の負担や限月間の価格差（スプレッド）による影響
- 売買委託手数料、信託報酬、監査報酬等の負担

上記以外にも、運用目標が達成できない場合があります。なお、市場動向等に急激な変化が生じたときまたは予想される時、信託財産を保全するため原油先物取引の建玉を縮小もしくは全て決済する場合があります。その場合、基準価額は、WTI原油先物取引価格の値動きの影響を受けにくくなること、もしくは受けなくなることが想定されます。